

# 石川県安全運転研修所 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

## 1 施設の設置目的

自動車の運転に関する高度な技術及び交通安全意識の講習を行い、多様な交通環境に適応できる運転者を育成することを目的としています。

## 2 施設の果たすべき役割

石川県安全運転研修所は、運転免許取得後に再教育の機会が少ない運転者に交通安全教育の機会を与え、施設の効果的活用による安全運転のための知識・技術向上と交通安全意識の高揚を図ることにより、悲惨な交通事故を抑止することを役割としています。

## 3 事業内容

高度な技術、知識を得る体験・実践型の交通安全教育を行うため、次の3コースの研修などを実施しています。

### (1) リフレッシュコース

既に運転免許を取得している方への再教育で、指導員による運転技能及び知識等の指導助言により、その資質の向上を図ることを目的とした研修を実施しています。

### (2) チャレンジコース

既に運転免許を取得している方が上位免許を取得するため、又は新たに運転免許を取得するため、指導員によるマンツーマンの研修を実施しています。

### (3) 貸しコース

既に運転免許を取得している方が、自己の車両により自分で練習を行うためのコースを貸し出しています。

## 4 現状と課題

### (1) 管理運営体制について

- ・石川県安全運転研修所では、施設を効率的・効果的に管理するために、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・施設の運営、使用料の徴収及び利用促進、施設、設備及び備品の維持管理及び小規模な修繕などの業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である令和5年度から9年度までは、「一般財団法人 石川県交通安全協会」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や小規模な修繕の実施状況などの管理状況のほか、利用者からの意見などについて、指定管理者から定期的に報告を受け運営指導を行うなど、適正な

管理・運営に努めています。

- ・ 県では、指定管理者と協議し老朽化した施設の修繕などを実施しており、引き続き施設の老朽化対策を進めていく必要があります。

## (2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・ 施設の有用性及び利便性の周知に努め、その効率的・効果的な手段として、パンフレット・チラシ等の配布やウェブサイト上での広報を実施しており、今後もより一層、広報の充実に取り組んでいく必要があります。
- ・ 原則、県内に居住する自動車等の運転者（免許を取得しようとする方も含む。）を対象に、多様な交通環境に適応できる運転技術と運転マナーの向上を図っていくため、高度な運転技能知識と円満な社会常識を備えた研修指導員を育成し、県内で多く発生する交通事故形態に対応する体験・実践型の研修内容を今後より一層充実させていく必要があります。
- ・ 多くの県民に気軽に利用していただけるよう、指導員（職員）一同「常に県民全体の安全のために」を念頭に置き、利用者すべてに奉仕の精神（親切丁寧をモットー）で安全運転の技術・知識・意識の向上のために研修を行っていく必要があります。

## (3) 施設運営の効率化について

- ・ 県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時に対応できるよう連携を図り、迅速効率的な施設運営を行っています。
- ・ 今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを研修所の利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努めます。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標

- ① 利用者数については、現在の水準（基準値）を下回らないよう更なる利用促進に努めます。
- ② 利用者アンケートによる満足度については、引き続き95%以上を維持します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H29～R1平均)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
① 利用者数		4, 536人	4, 600人	4, 600人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	100.0%	95%以上	95%以上
	施設の維持管理	99.4%	95%以上	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

#### ① 施設の利用促進に向けた取組

##### ○ 施設の利用促進

- ・ 体験・実践型の研修について、県内で多く発生する交通事故形態を反映させるなど、内容の充実に努めます。
- ・ 予約の重複防止のため、予約の再確認を徹底します。
- ・ ウェブサイトでメールでの問い合わせに対応します。

##### ○ 研修所の存在と研修内容の広報（情報提供、PR等）

- ・ 報道機関を活用し広報の充実に図ります（テレビ・新聞社等への積極的な情報提供による報道広報）。
- ・ ウェブサイト上で免許取得の挑戦や事故防止に役立つコース別の研修内容をPRします。
- ・ 年間を通じ、各種行事イベント会場及び免許更新者、原付講習受講者に「研修所利用案内リーフレット」（発行部数2万部）を配布します。
- ・ 交通安全協会の機関誌「こうつういしかわ」（発行部数18万部）に研修所の利用案内を掲載します。

##### ○ 関係機関・企業と連携した促進活動

- ・ 県の関係機関・企業の連携と協力を得て、県内の運送業者などの企業に新入社員研修等での利用を働きかけます。

#### ② サービス（満足度）向上に向けた取組

- ・ 利用者全員に対する無記名式アンケートの実施、待合室に全利用者を対象とした意見箱の設置、ウェブサイト上の意見コーナーの設置などにより寄せられた、利用者の意見・ニーズを踏まえたサービス改善と親切丁寧な対応のための指導教養に活用します。
- ・ 「女性指導員がいると女性がより利用しやすくなる。」との県民の意見があるため、引き続き女性指導員を雇用し、研修指導に当たらせていきます。
- ・ リフレッシュコース研修者に実施している「安全運転診断シート」に基づき、利用者に応じたきめ細やかなアドバイスや指導を行います。

## (2) 施設運営の効率化に向けた取組

- ・ 光熱水費（建物の照明・クーラー、コースの照明、スキッドコースの散水など）削減のため、指導員に無駄を排する節約意識を呼びかけ、年間の節約効果を数字で示し、削減に努めます。
- ・ 「施設・資機材をこまめに点検することで軽微な段階での補修を行い、大事に至る補修の出費を防止する。」ことを職員に浸透させ実践します。
- ・ チャレンジコース利用者などのキャンセル防止が研修所の稼働率向上につながることから、予約時にその点に配慮した受付を行います。
- ・ コースの除草等は、指導員が率先して行い、これらに掛かる経費の削減を図り、コース内の環境整備を推進します。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

(単位:人)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
リフレッシュコース	2,091	2,256	2,064	1,433	1,941
チャレンジコース	1,747	1,880	1,865	1,881	1,995
貸しコース	505	374	177	165	142
原付講習	233	192	224	243	267
計	4,576	4,702	4,330	3,722	4,345

(2)利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理)

【利用者サービス】

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
良い	80.0	78.4	75.7	72.1	76.9
概ね良い	20.0	21.6	24.3	23.3	21.2
計	100.0	100.0	100.0	95.4	98.1
やや悪い				4.6	1.9
悪い					

【施設の維持管理】

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
良い	85.2	74.5	78.4	64.1	66.6
概ね良い	13.0	25.5	21.6	35.9	29.6
計	98.2	100.0	100.0	100.0	96.2
やや悪い	1.8				1.9
悪い					1.9

(3)使用料の収入実績

(単位:千円)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
リフレッシュコース	5,676	6,194	5,913	4,183	5,807
チャレンジコース	8,374	8,849	9,168	9,529	9,902
貸しコース	550	600	271	277	238
原付講習	373	307	358	389	427
計	14,973	15,950	15,710	14,378	16,374